

# 病院関係者と地域包括支援センター・在宅介護支援センターとの意見交換会

## グループワーク②

### 2 2回目のグループワークのテーマ

(1) 1で圏域での課題について具体的な改善案について協議（筑波、谷田部、荃崎）

(2) 事務局からの提案テーマ（大穂、谷田部、桜）

入院時、本人の意思が確認できるが、本人が治療を拒否したり、明確な意向かどうか不明。また医療同意を求める親族も不明。本事例で課題になることの改善案を協議。退院調整看護師、医療SW、包括、在支、病院関係者、在宅医療介護関係者、市等との連携・役割も含めて協議

圏域	協議内容	カテゴリー
筑波	<p>地域性：交通の便が不便。高齢者多い。開業医が多い。地域の間関係が密なところも多い。社会資源になりうる物は多い。</p> <p>コロナの影響：</p> <p>【病院】 家族と患者面会出来ない。外出・外泊訓練出来ない。病院によっては退院を目途にし、外出している病院もあるが、病院に戻ったらPCR検査を実施。コロナ感染あった病院は、施設風評被害あり。</p> <p>【在宅】 アルコール依存症や虐待増加が心配</p> <p>☆医療機関や社会資源を活用することで、介護や医療の困りごとを無くしていくことができるのではないかと。関係者が相互に相談し合える関係を作る事ができると良いと思う。</p>	<p>コロナ感染影響</p> <p>地域連携ネットワーク</p>
大穂	<p>○独居、身寄り不在のケースで本人は治療拒否のため在宅にてフォローのため、圏域包括につなぎ自宅で看取りができたケースから、看取り後のケアに関して市役所の直営包括や社会福祉課などのやり取りの中で圏域包括とやり取りした内容が共有できておらず、再度説明することが必要になった、市役所内の縦割り感を感じるとともに情報共有の工夫の必要性を感じた</p> <p>○認知症の患者様で本人の意向確認、治療同意を取ることが難しいケースもあり、成年後見制度の導入検討や入院などに関しては病棟師長の確認のもとに、独自の対応ルールを決め行っている。</p> <p>○病院の特徴として回復期病棟では、本人同意や身寄り、身元保証人など、ある程度情報を整理できていたり、整形疾患のケースが多く比較的診療の同意が取れている。</p>	<p>情報連携</p> <p>院内ルール</p> <p>情報整理</p>

<p>谷 田 部</p>	<p>入院後在院日数で退院の見込みを立てるが身体状態や病状もあり、予測を立てにくく、退院が決まってからの連携になってしまうこともある。病院側から地域と連携する際に情報を提供するだけでなく、アセスメントも重要でお互いに必要な情報の確認、連携の質を上げていく必要がある。</p> <p>包括で介入していない方で孤独死があった。また、高齢者台帳などであがってきていない方で急に支援が必要になることも考えられる。今後増えていく可能性もあり、そのような方を支えていく仕組み（地域住民との連携）も必要である。</p> <p>病院側から高齢な父親と息子の世帯で息子が入院しているが父親と連絡がとれないと安否確認の依頼があり、緊急性の判断で対応したケースがあったが個人情報を含めた関わりをどこまで共有していくかシステム化ができていくとよいネットワークになるのではないか。</p>	<p>アセスメント力 連携の質の向上 孤独死 個人情報の取り扱い 地域連携ネットワー ク</p>
<p>桜</p>	<p>包括関与事例。男性独居にアパート暮らし。親族との関りがほとんどなし、今までに家族間で色々あったようで関係を断たれていた。その中で人身事故に合い意識不明にて医療機関へ入院。警察の対応で疎遠だった親族と連絡が取れている。本人に会ったのは約30年ぶり。本人のことは分からない事が多く、包括が関りを持っていたことで、過去約半年間とこの数年前の情報を得ることができた。</p> <p>今回、本人に対して行政（市、救急隊、警察、医療機関、包括、家族等与えられた役割がきちんと繋がったと思われる事例。</p>	<p>家族親族関係不良 包括支援事例</p>
<p>荃 崎</p>	<p>緊急入院のケース 経口摂取困難からIVH挿入に医療同意がなされないケース</p> <p>* 継続的に関わっているケースでも親族情報等がない中では、緊急時に親族と連絡が取れなく困ってしまう場合がある。 * ケアマネさんとかは継続的にみているので状況はよくわかっているが、包括では緊急時にIVH挿入のような場合になった場合に、つながりの薄い親族にでも対応してもらいたい場合がある。</p> <p>改善案</p> <p>* 情報が限られている中で、ご親族から情報を得ることはもちろん、警察からの情報、生活保護受給者であれば福祉事務所、判断能力の無い方であれば成年後見人とご本人に代わり情報を得ることが必要ではないか。 * 入院に対する手続き等誰がするのかなど、市町村によっても、担当者によっても違い、病院関係者でも決めていくことが困難であることから各担当者みんなと一緒に考えていくことが何よりも大切ではないか</p>	<p>親族と連絡困難 個人情報の取り扱い 多職種連携</p>